

第 22 回森林再生小委員会 現地検討会

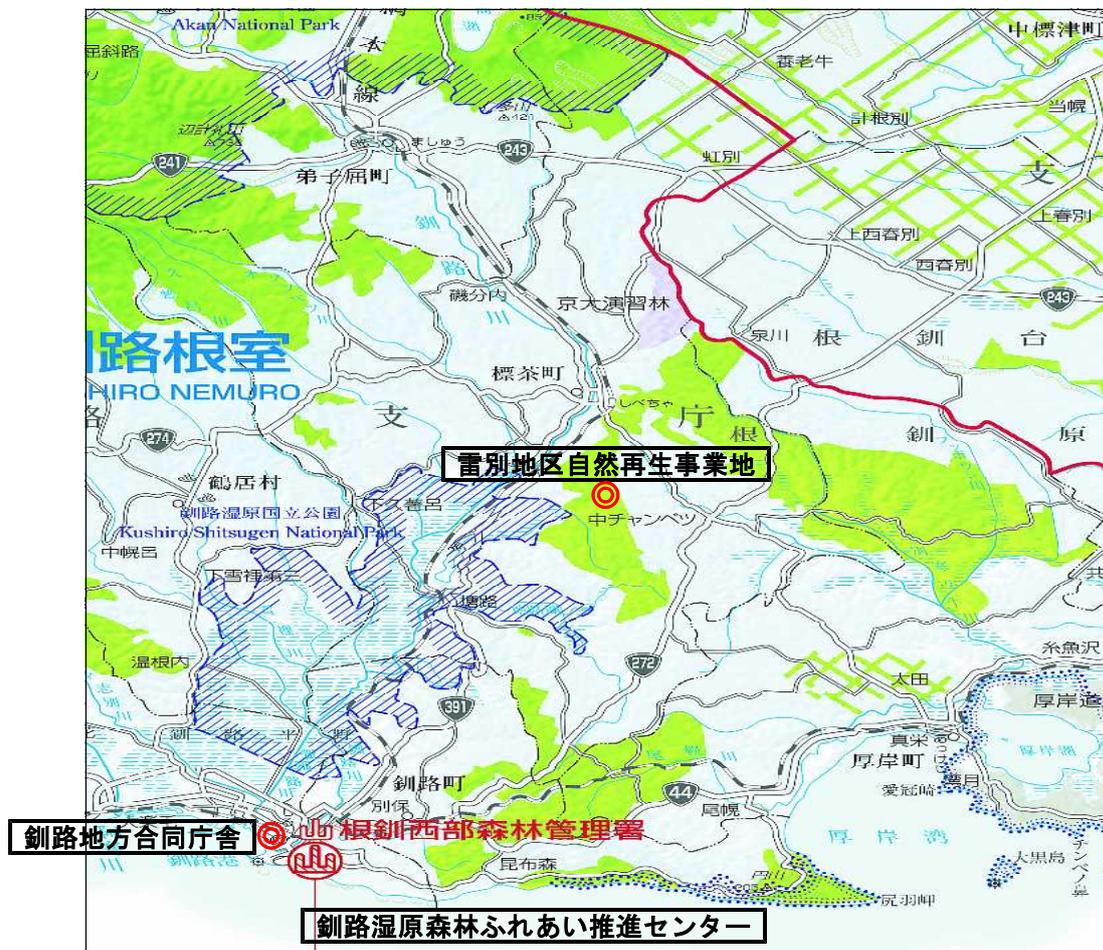
日 時 令和 4 年 10 月 18 日 (火) 9 時 30 分～14 時 20 分
場 所 雷別地区自然再生事業地 (川上郡標茶町雷別国有林)

【タイムスケジュール】

9 時 15 分～ 釧路地方合同庁舎 受付開始
9 時 30 分 釧路地方合同庁舎 バス出発
9 時 30 分～11 時 00 分 バス移動
11 時 00 分～12 時 20 分 雷別地区自然再生事業地視察
12 時 20 分～12 時 50 分 昼食 (現地)
12 時 50 分～14 時 20 分 バス移動
14 時 20 分 釧路地方合同庁舎 到着

14 時 30 分～16 時 15 分 森林再生小委員会 (釧路地方合同庁舎 5 階 第 1 会議室)

* 上記時間は予定であり、状況や進行により、若干前後する場合がございます。



林野庁 北海道森林管理局
釧路湿原森林ふれあい推進センター

【参考】

雷別地区自然再生事業の概要

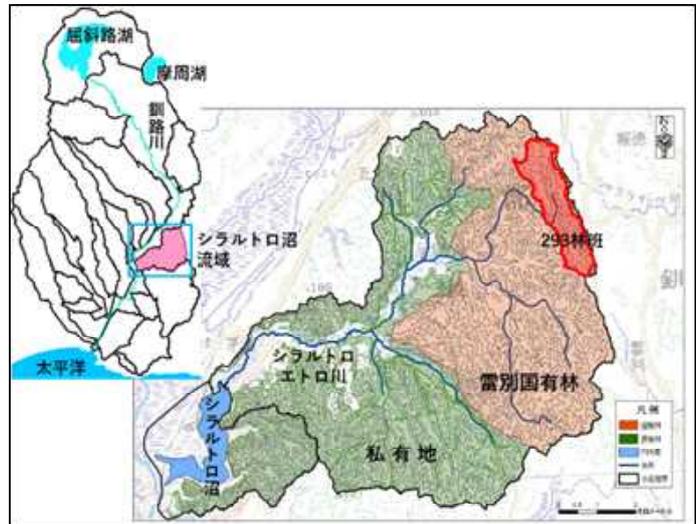
1 目 的

雷別国有林（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）は、釧路湿原の東部三湖沼の一つ、シラルトロ湖に流れ込むシラルトロエトロ川の源流部に位置しており、釧路湿原の自然環境の維持・保全のうえで重要な場所です。

ここには、林齢が 70 年を超えるトドマツ人工林が広がっていましたが、2000 年（平成 12 年）の気象害により立枯れが発生し、一部では疎林・未立木地（笹地）となりました。

当センターでは、森林の持つ水質保全や保水機能を回復するため、ボランティア団体や企業の社会貢献活動と協働し、笹地となった箇所を郷土樹種であるミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ等の広葉樹を主体とする森林へ再生するため、自然再生（森林再生）に取り組んでいます。

雷別国有林位置図



2 事業内容

(1) 笹地の地表処理

天然更新箇所では、笹の根を除去し、自然に落ちた広葉樹のタネが育つのを助けます。

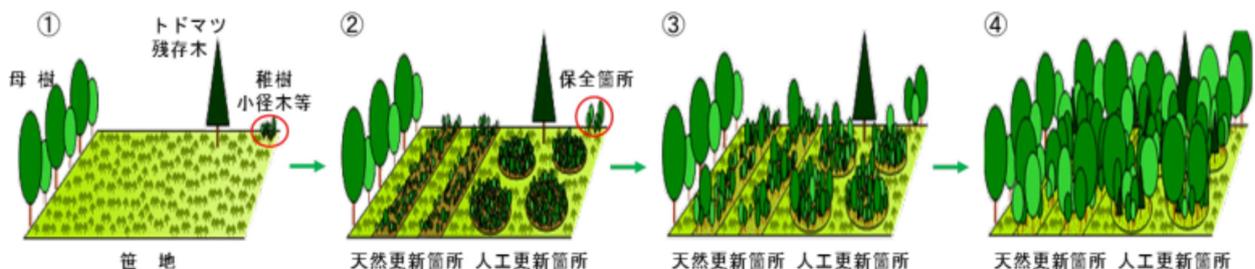
(2) 広葉樹の植栽

人工植栽箇所では、笹の根を除去し、地域住民等との協働で広葉樹苗木を植栽します。

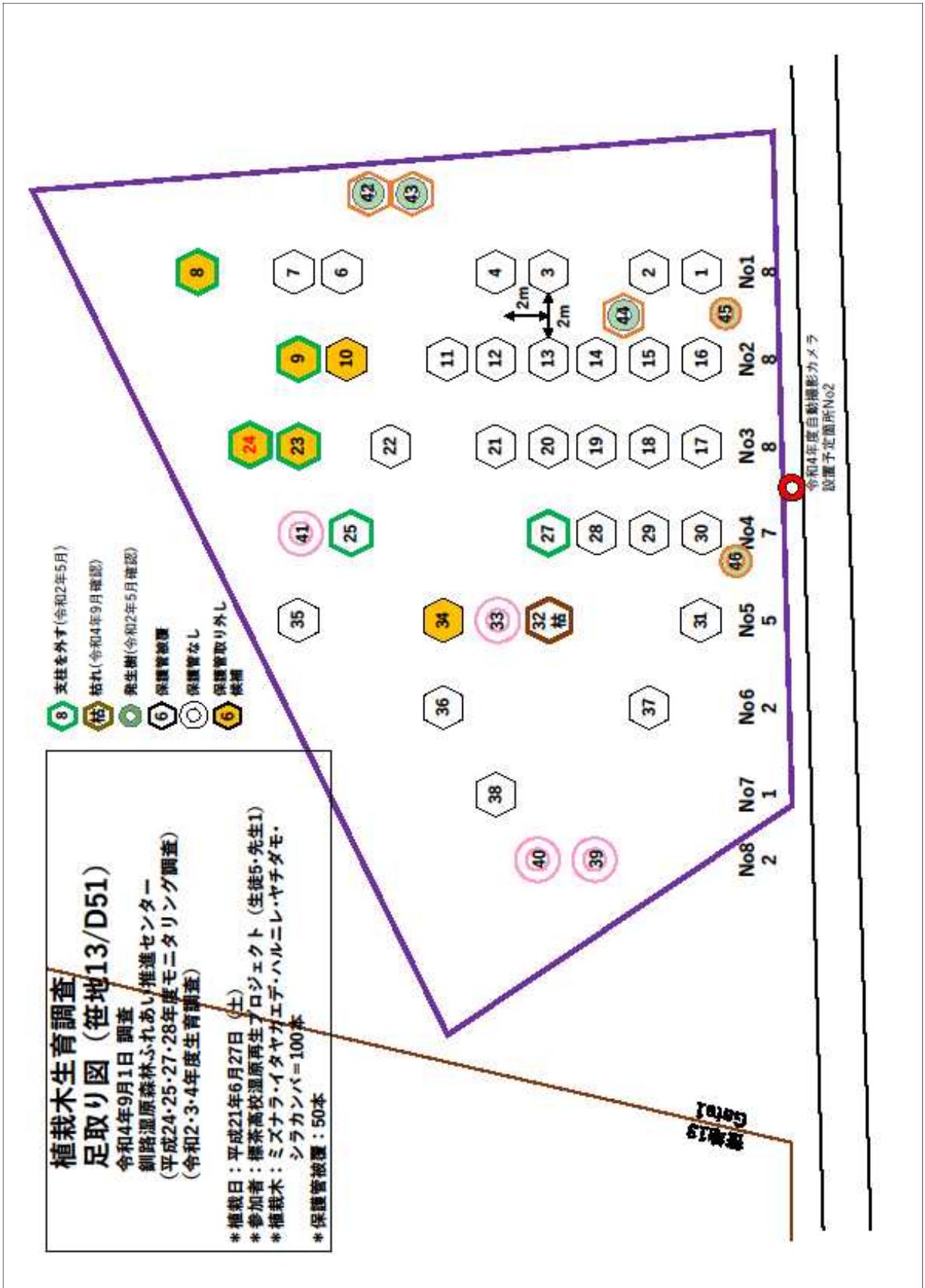
(3) 植栽木の保護

ウサギ等の野生生物の食害から植栽木を保護するため、保護管による被覆や防鹿柵を設置しています。

森林再生のイメージ



2 現地検討箇所概要図
 (1) 笹地 13D51 概要図



令和4年度（2022）植栽木等の生育調査（笹地13D51）

地表処理箇所の植栽木及び発生樹調査野帳 令和4年9月調査（1日）

番号	No	区画	処理	樹種	樹高 cm	生枯	被食	根元径 mm	備考
			ツリー シェルタ -	防鹿なし 柵					
1	1	D51	○	ミズナラ	180	○	△		食害あり
2	2	D51	○	コナラ	202	○			
3	3	D51	○	ヤチダモ	259	○			
4	4	D51	○	ハルニレ	322	○		26	同定誤りのため樹種訂正
5	6	D51	○	コナラ	259	○			
6	7	D51	○	ヤチダモ	429	○		23	
7	8	D51	○	ハルニレ	671	○		82	保護管外す候補、下部に虫
8	9	D51	○	ハルニレ	565	○		82	保護管外す候補、下部に虫
9	10	D51	○	ハルニレ	450	○		64	保護管外す候補、下部に虫
10	11	D51	○	イタヤカエデ	232	○			
11	12	D51	○	シラカンバ	272	○			
12	13	D51	○	ヤチダモ	390	○		37	
13	14	D51	○	コナラ	186	○			
14	15	D51	○	シラカンバ	208	○			
15	16	D51	○	イタヤカエデ	227	○			
16	17	D51	○	ミズナラ	202	○	△		食害あり
17	18	D51	○	イタヤカエデ	209	○			
18	19	D51	○	ハルニレ	349	○		35	
19	20	D51	○	ヤチダモ	301	○		20	先枯れ
20	21	D51	○	ハルニレ	102	○			
21	22	D51	○	コナラ	347	○		40	
22	23	D51	○	ヤチダモ	778	○		90	保護管外す候補
23	24	D51	○	ハルニレ	999	○		95	保護管外す候補
24	25	D51	○	ヤチダモ	656	○		60	
25	27	D51	○	ハルニレ	558	○		61	
26	28	D51	○	ヤチダモ	250	○			

27	29	D51	○	コナラ	206	○	△	食害あり
28	30	D51	○	イタヤカエ デ	242	○		
29	31	D51	○	コナラ	183	○	△	食害あり
30	32	D51	○	-	-	×		78 枯れ、イタヤカエ デ667
31	33	D51	○	ヤチダモ	624	○		72 経過観察中
32	34	D51	○	ハルニレ	558	○		68 保護官外す候補
33	35	D51	○	コナラ	36	○		
34	36	D51	○	ヤチダモ	252	○		しおれ気味
35	37	D51	○	ヤチダモ	302	○		32
36	38	D51	○	コナラ	446	○		44
37	39	D51	○	ヤチダモ	118	○		当時の植栽木・ピン クまだらテープ・ 先枯れ
38	40	D51	○	ヤチダモ	569	○		49 当時の植栽木・ピン クまだらテープ
39	41	D51	○	イタヤカエ デ	657	○		100 当時の植栽木 ピンクテープ
40	42	D51	○	ミズナラ	208	○		発生樹・オレンジテ ープ
41	43	D51	○	ミズナラ	25	○		発生樹・オレンジテ ープ・上部枯れ
42	44	D51	○	ミズナラ	56	○		発生樹・オレンジテ ープ
43	45	D51	○	ケヤマハン ノキ	179	○		発生樹・オレンジテ ープ
44	46	D51	○	ケヤマハン ノキ	219	○	△	発生樹・オレンジテ ープ・食害あり (ウサギ・シカ)

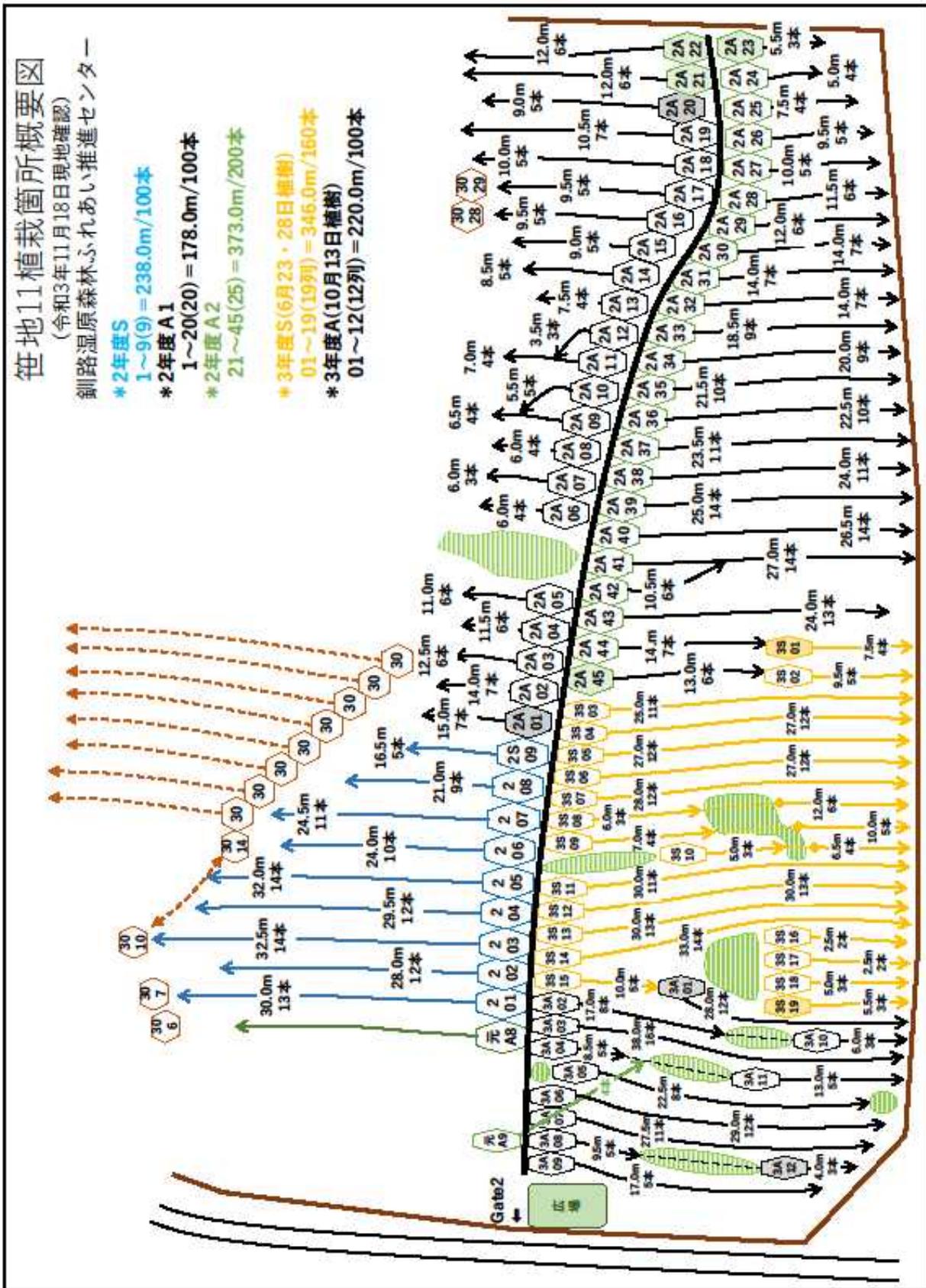
笹地 1 3 D 5 1 全景



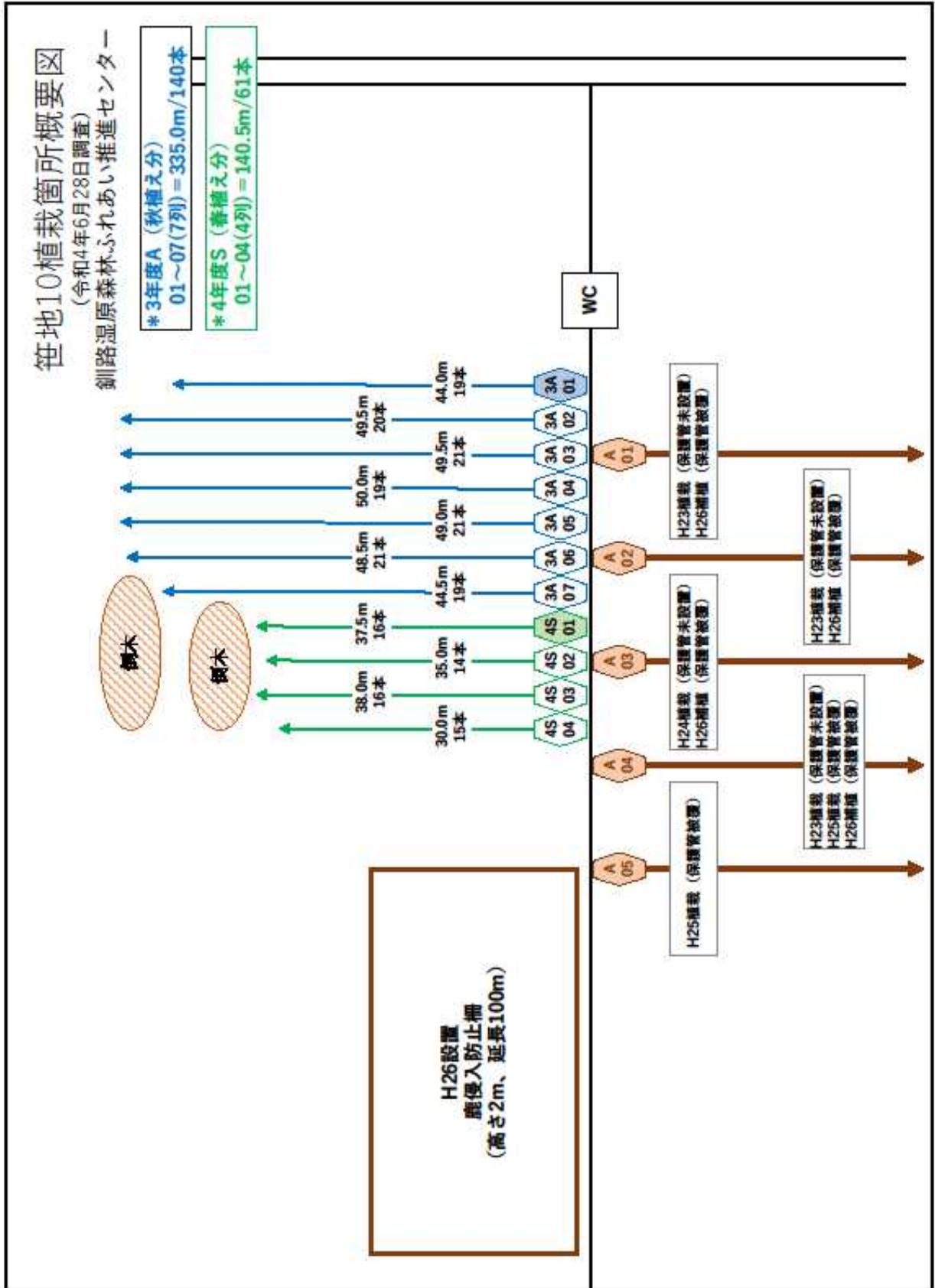
保護管飽和状況



(2) 笹地11概要図

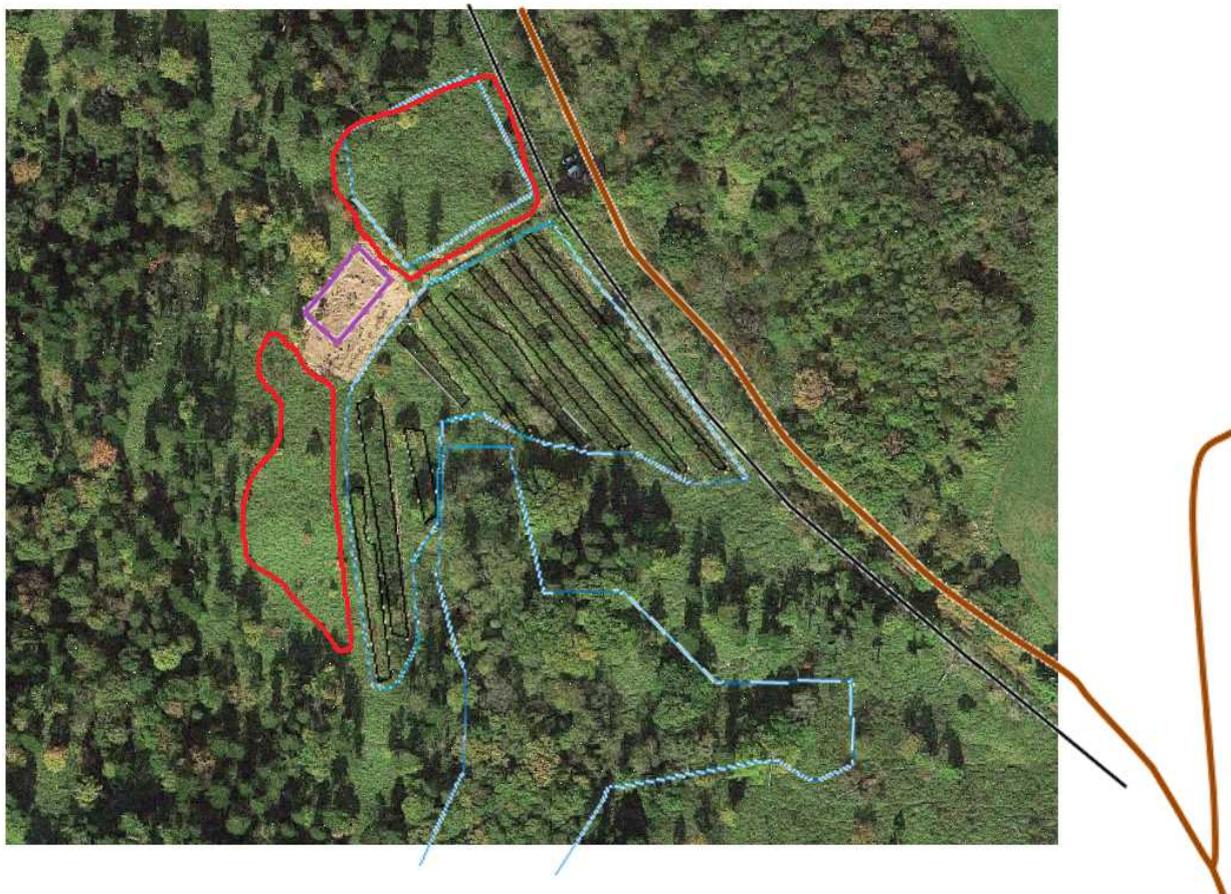


(3) 笹地10概要図



(4) 笹地 10 要植栽箇所概要図

- ・赤線区画 今後、地域住民と連携して人工植栽に取り組んでいく区画
- ・紫線区画 平成 26 年度の森林再生ボランティアの活動で設置した鹿侵入防止柵
(延長 100m)



3 今後の検討課題（検討項目）等

①笹地13D51（平成21年（2009）6月植栽 13年経過）

○植栽木の生長状況に応じた保護管の取扱い（除去（取り外し）、現状維持等）
（植栽木が保護管（H = 1.8 m）の高さを超えた場合の取扱い）
→ 保護管除去の目安（樹高、根元径、胸高直径）

○保護管の劣化状況の把握（耐用年数）

○環境に配慮した施業を考慮し、プラスチック製品である保護管【ツリーシェルター】の今後のリサイクルなどの取扱いについて（別添資料参照）
→ 全植栽地共通課題

②笹地11（令和2年度～3年度植栽）

○防鹿柵の中と外で保護管を除去した際のエゾシカの食害頻度のモニタリング

③笹地10（平成23～26年植栽、令和3年秋植～）

①の検討課題（検討項目）と同じ